

Book Review

歯の欠損から始まる病気のドミノ 命の質と量を守るためのインプラント治療

武田孝之・林 揚春 著

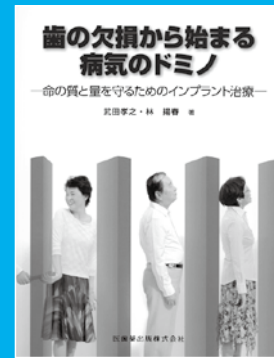


Reviewer

熊谷真一

(静岡県・くまがい歯科クリニック)

A4 判変型、40 頁
定価 2,940 円
(本体 2,800 円+税 5%)
医歯薬出版刊



インプラント治療を通して、よく噛んで楽しく食べ、健康が維持できるように、患者さんとともに歩む歯科医療を考えるためのアドバイスが、本書には溢れていた。

歯の欠損が生じて、インプラントによって歯があったときと同等の機能回復ができる時代となった。インプラント治療のメリットが世の中に浸透し、多くの年齢層の患者さんに応用されるようになったと思われる。このようななかで、インプラント治療を行う際に、できることなら患者さんの体に負担が少なく、欠損の進行を食い止めながら長期安定することで、健康で楽しい生活を長く送っていただきたいと考えるのは、医療従事者の共通の願いではなかろうか。

今まで、患者さんへの説明のための冊子や、インプラントとはどのような治療か、インプラント治療を受けることによるメリットやデメリット、治療のテクニックといった書籍や特集は読み切れないほどに出版されてきた。本書の著者らも『安心・安全 納得のイ

ンプラント治療』『基本症例における IMPLANTS 臨床編』をはじめ、さまざまな書籍を執筆している。本書はそれを踏まえ、著者らの 30 年を超える長い経験のなかで培われた一歩先の視点をもって執筆された。

噛むことは大切であり、生きていくための根幹をなすことだと言っても過言ではない。本書はそのさらに先、インプラントの恩恵を受けた患者さんの生活にも注目している。インプラントによって生じるメリットだけでなく、二次的に生じる問題への警鐘と、そのことを踏まえ、患者さんとともに健康を考える必要性を説いている。

歯科治療のゴールは噛めることかもしれないが、噛めることは健康へのゴールではない。インプラントにより劇的に噛む機能が回復し、今まで食べることができなかったものが食べられるようになり、気がつけば肥満につながってしまうこともある。

本書中にはメタボリックドミノという概念が紹介されている。肥満からインスリン抵抗性というドミノの駒が倒

れ、高血圧や高脂血症、食後高血糖が発症し、さらに駒が倒されて糖尿病や動脈硬化症などの発症となっていくというものである。噛めることと悪しき食習慣との相乗効果がドミノの駒を倒し、重篤な病気へと進行させてしまう危険性も考えなければならない。

歯の欠損による咀嚼の偏りや食習慣の乱れからも病気のドミノは倒れていく。欠損が小さいうちは欠損の拡大を予防することで、ドミノの駒が倒れていくことを防ぎ、進行してしまった欠損には、正しい健康感をもってただかなくてはドミノが倒れることを食い止められない。健康というゴールを得るための第一歩は歯の健康であり、よく噛んで美味しく楽しく規則正しく食べることだと著者らは言う。どのような食物をどのように噛むか、咀嚼回数や強さ、食事の種類や時間などへのアドバイスも重要となる。

本書を通して、正しく噛むこと、正しい食生活を送ることが患者さんの健康を守る、ということをあらためて認識させていただいた。